

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんく泉崎教室		
○保護者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		～ 2026年3月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高い満足度と安心感	保護者評価は非常に高く、「安心して通わせられる」「丁寧な対応」といった評価が多い。	活動・活動バリエーションの強化 屋外活動や体験活動の機会を増やし、活動の幅を広げる。
2	個別に応じた丁寧な支援	日々の関わりの中で、子どもの小さな変化や成長を捉えた支援ができています。	面談・相談機会の充実 定期的な面談の実施や、保護者の希望に応じた対応を強化する。
3	保護者との密な連携	連絡帳や送迎時のやり取りを通して、継続的な情報共有が行われている	情報発信の強化 活動内容や支援の意図をより分かりやすく伝える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援計画の運用不足 計画の作成・共有・実践が不十分で、現場で活用されていない。	支援の基準や共通認識が明確化されていない	個別支援計画の運用強化 計画の作成・共有・実践を一連の流れとして確立する。
2	支援の統一性不足 職員ごとに支援の考え方や実践にばらつきがある。	計画やマニュアルが現場に落とし込まれていない	支援の共通化 支援の考え方や方法を言語化し、職員間で統一する。
3	安全・マニュアル体制の弱さ 訓練やマニュアルの理解・共有に課題がある。	日々の業務に追われ、体系的な整理が不足している	安全管理体制の強化 マニュアル整備・研修・訓練を計画的に実施する。